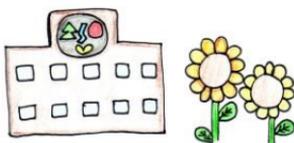


産婦人科受診のご案内

妊婦健診

(当院分娩)



川崎市

川崎市立多摩病院

(指定管理者：聖マリアンナ医科大学)

産婦人科

分娩予定日

年 月 日

分娩予定日確定後記入 (記入日 /)

2020年3月改定

目次

はじめに	2ページ
I 妊娠確定から分娩入院までの健診の予定	3ページ
II 健診の1日の流れ	4ページ
III 分娩予約について	6ページ
IV 診察、検査について	7ページ
V 健診時の注意事項	8ページ
VI 妊娠中の注意点	10ページ
VII 妊娠中の指導について	14ページ
*母親学級案内（くわしい日程は別紙参照）	15ページ
VIII 入院について	16ページ
IX 病院への連絡方法	18ページ
*3西ひまわり病棟の面会について	19ページ

はじめに

川崎市立多摩病院（指定管理者 聖マリアンナ医科大学）を選んでいただきありがとうございます。

この冊子は、妊婦健診時の内容を詳しく紹介していますので、

健診前には内容を確認し、健診時には必ず持参してください。

当院は、お母さんと赤ちゃんのために、いろいろなサービスを提供しています。健康管理に重点を置いたケアはもちろん、必要に応じ専門分野のケアも受けられます。産科医・小児科医・助産師・看護師・栄養士・薬剤師などがそれぞれの専門分野から、皆様の妊娠期から産後までをサポートしていきます。皆様が赤ちゃんを迎える準備ができ自信を持ってその日を迎え、安心して退院できるようお手伝いします。

当産婦人科では、外来と病棟で継続したケアを行っています。医師・助産師・看護師で協力して、お母さんと赤ちゃんのケアを行い、外来・入院期間を気持ちよく過ごせるように努力しています。また、お母さんにとって貴重な情報源として、助産師が母親学級・妊娠中の個別指導・産後の乳房トラブル指導・育児指導も行っています。また当院は、医療教育機関でもあるため医学生及び助産師学生・看護学生もケアにかかわることがあります。学生は常に指導者の監督下であり、良い意味で皆様や家族に質の高いサービスを提供する助けとなります。

私たちは、皆様への行き届いたサービスを第一と考え、常に改善を心がけています。妊娠・出産・産後を通してご意見・ご希望があれば、ぜひお知らせ下さい。今後のケアに取り入れていきたいと考えます。

I 妊娠確定から分娩入院までの健診の予定

- ・初診・妊娠確定 ・ ・ 診察時に子宮頸部のがん検診

健診の間隔は医師の指示に従ってください

- ・妊娠 10 週前後 ・ ・ 診察時に分娩予定日が確定されます
診察終了後に当院分娩予約の手続き （詳細 6 ページ）
妊娠初期の採血があります （詳細 7 ページ）

以後健診が 4 週間おきになります （医師の指示に従ってください）

- ・妊娠 16 週前後 ・ ・ 診察時に経膈、経腹超音波の両方が行われます
診察時に膈の培養検査が行われます （詳細 7 ページ）

- ・妊娠 20 週以降

プレママオリエンテーション（助産師指導）の予約、受講 （詳細 14 ページ）

- ・胎児精密外来があります（御家族も一緒に胎児エコーを御覧頂けます）

- ・妊娠 24～26 週前後

健診が 2 週間おきになります （医師の指示に従ってください）

- ・妊娠 28 週前後 ・ ・ 妊娠中期の採血があります

- ・妊娠 32 週前後 ・ ・ 妊娠経過が不明な方は助産師外来 （詳細 7 ページ）

- ・妊娠 36 週前後 ・ ・ 診察の前に NST があります （詳細 7 ページ）
診察時に膈の培養検査が行われます（検査内容は 16 週時と同じ）
妊娠後期の採血があります
帝王切開術予定の方は手術前検査、手術説明があります
妊娠経過が不明な方は助産師外来

分娩になるまで健診が 1 週間ごとになります

（医師の指示に従ってください）

Ⅱ 健診の1日の流れ

(見取り図は次ページにあります)

- 1: **再来受付** ・ ・ 再来機に診察券を通し、受付票を受け取ってください。
- 2: **検体検査 (13番)** ・ ・ 受付機に診察券を通します。
尿検査 (毎回)、採血 (医師の指示がある時のみ) があります。
- 3: **血圧・体重測定** ・ ・ 産婦人科中待合 (E 通路) で血圧と体重を測定していただき、測定値の用紙をお取りください。
- 4: **東外来受付 (12番)** ・ ・ 測定値の用紙と母子手帳を、青いクリアファイルに入れていただき、東外来受付 (12番) に提出してください。
- 5: **医師の診察まで待機** ・ ・ 東外来受付前 (外待合) でお待ちください。
電光掲示板に受付番号が表示されましたら、産婦人科中待合 (E 通路) でお待ちください。
(診察まで時間がかかる時は外出が可能です。外出希望の方は東外来受付事務に声をかけてください。また、看護スタッフのほうから外出できる時間の提示をする場合もあります。
外出から戻りましたら、東外来受付事務に必ず声をかけてください。)
検査の結果が揃ってから診察になりますので、順番が前後する事があります。
- 6: **医師の診察** ・ ・ 問診、内診、経膈超音波
経腹超音波 (妊娠 16 週以降)
次回、予約日の確認
*入室したら、まず診察券を医師に提示してください。
***産婦人科中待合で誘導票、予約票、院外処方箋 (処方された方のみ) をお渡します。(しばらくお待ちいただくことがあります)**
- 7: **会計** ・ ・ 会計窓口 (4番)
誘導票が入ったクリアファイルを会計窓口にお出しください。
川崎市、横浜市在住の方は公費補助券 (別冊) を毎回提出してください。

4 : 東外来受付
(12番)に母子手帳、
血圧・体重が書かれた紙を提出

3 : 血圧・体重測定

6 : 医師の診察
診察券を医師に提出

産婦人科外来

15番
生理検査

14番
画像診断

5
待機

12番
東外来受付

中央
処置室

西
外来
受付

エレベーター
階段

1 : 再来受付

1~3番
4番
総合受付 会計

採尿室
13番
採血・採尿

2 : 検体検査

7 : 会計

救急外来
受付

守衛室

ド
ト
ール

総合案内

5番 入退院
6番 医療相談
7番 検査説明

健康診断部

正面玄関

時間外入口

1 階

Ⅲ 分娩予約について

妊娠 10 週前後の診察で分娩予定日が確定します。

分娩予定日確定後、分娩予約の手続きを5番入退院受付で行います。

- *当院の分娩をキャンセルされる方は速やかに看護スタッフに申し出てください。
- *診察後1カ月以上、未受診の場合は、当院分娩をキャンセルさせていただきます。
- *途中で他院での分娩希望（里帰り分娩など）となった際は、当院での健診の継続ができない場合もあり、他院での健診をお願いすることもあります。

《部屋の希望について》 分娩本予約時に部屋のご希望を確認します。

- ①産科特室（LDR） 1日 24000円（税抜）
- ②個室（A） 1日 17000円（税抜）
- ③ 大部屋（4人） 室料なし

①産科特室（LDR）について（夫立会い分娩に使用のお部屋です）

夫の立会い分娩を希望される方は、看護スタッフに申し出てください。

夫と共に分娩経過についての説明、LDRの使用基準の説明を受けてからのご利用となります。

- *初産婦の方・・・当院の母親学級に参加してください。第3回目を夫と共に参加し、第3回目終了後担当助産師からLDRの使用基準の説明があります。
- *経産婦の方・・・妊娠30週以降に助産師指導を予約してください。夫と共に参加していただき、分娩経過についての説明、LDRの使用基準の説明があります。（30分以上 有料）

②個室・③大部屋について（3西ひまわり病棟の個室はA個室のみとなります）

分娩本予約時に部屋のご希望を確認しますが、入院時に再度部屋の希望を伺いますので、いつでも変更は可能です。しかし、希望されたお部屋が入院時に満床の場合、ご希望に沿えないこともあります。

*面会制限については最後の見開きページを参照してください。

入院期間の目安：自然分娩・・・6日間（分娩当日～産後5日目退院）

帝王切開術・・・9日間（手術前日～手術後7日目退院）

夫立会い分娩について

原則はLDRで行い、入院から分娩の翌日まではLDRを使用して頂き、その後は個室か大部室へ移動します。

LDRが使用中の場合は分娩室で立会い分娩可能です。

より多くの方に立ち会い分娩をして頂きたいと思います。

※ 入院から分娩までの所要日数によってはその使用分の室料をいただきます。

※ 注意事項

- 妊娠 35 週迄に御夫婦が立会い指導（指導料 3400 円）を受講していることが必須です。
- 非常に稀ではありますが、分娩室で立会い希望者と立会い希望無しの方が、同時並行で重なった場合は、立会いはできません。

メモ



Ⅳ 診察、検査について

①診察

内診・・・帯下の状態の観察（毎回）

子宮頸管の軟らかさ、子宮頸管（子宮口）の開きなどの観察（妊娠37週以降）

超音波・・・【経腹超音波】胎児の大きさの測定（妊娠16週前後まで）

子宮頸管の長さを計測し、切迫流産の徴候の有無の観察

【経腹超音波】胎児の大きさ、胎児の向きを観察（妊娠16週以降）

触診・・・浮腫の有無の観察（妊娠20週以降）

②検査

尿検査、体重、血圧測定（毎回）

血液検査（妊娠初期、妊娠中期、妊娠後期、医師の指示がある時）

その他）＊妊娠初期・・・血液検査で妊娠初期のみ以下の事を調べます。

血液型、風疹抗体、血液感染症（梅毒、B型肝炎、C型肝炎、HIV、ヒトT細胞性白血病ウイルス）

「後天性免疫不全ウイルス(HIV)感染症の検査に関する説明と同意書」を記載していただきます。

＊妊娠15～19週・・・医師の診察時に行います。

腔培養（カンジタ、グラム陰性桿菌B型(B群連鎖球菌)など）、クラミジア検査

＊妊娠33～35週・・・腔培養検査

＊妊娠36週以降・・・NST（ノン・ストレス・テスト）

NSTとは、ストレスのない（陣痛のない）状態での赤ちゃんの健康状態、胎児臍帯の状態を調べる検査です。お腹に2つのセンサー（胎児心音を聴くセンサー・胎児臍帯を測定するセンサー）を装着し、30～40分継続的に測定します。リクライニングチェアに寝て測定します。妊娠後期は仰向きになることで気分不快になることがあります。気分不快になったら、すぐに横向きになることで、気分不快は改善します。

注意：検査中は30～40分動かさないので、お子様を連れてくるのは控えてください。

お子様は検査室に入れませんのでご了承ください。

③助産師外来について

妊娠32、37、39週前後に助産師が診察と指導を行います。

経過が順調な方のみ医師より次回外来予約日を決める時に説明があります。

1人30分で完全予約制ですので、予約時間より少し早めに来院し、尿検査、体重・血圧測定を行い、診察券、母子手帳を提出してください。

V 健診時の注意事項

- ☀️ **診察がスムーズに進むよう**、服装はお腹を出しやすく、下着・靴の着脱が楽なものを選んでください。ブーツは更衣の際、危険なのでご遠慮ください。
- ☀️ 爪や顔色は健康のバロメーターですので、薄化粧、色の薄いマニキュアの使用をお願いします。妊娠後期から爪を短く切り、マニキュアの使用は止めましょう。
- ☀️ **感染防止のため**、外出後は**手洗い・うがい**をお勧めします。また、当院は他の科（内科、小児科など）もありますので、**マスクの着用**をお勧めします。
インフルエンザの予防接種は妊娠期・産後いつでも接種可能ですので、接種をお勧めします。
- ☀️ 診察は必ず内診があります。内診時はお子様を見ていることができないため、一人でのいることのできないお子様と一緒に来院する場合は、付き添いの方と一緒に来院するか、お子様を預けてから来院してください。
やむを得ず、ベビーカーでお子様をお連れになった時は、必ずベルトの着用をしてください。
当院は他の科（内科、小児科など）もあります。**感染防止のためには**お子様の同伴を控えることをお勧めします。
- ☀️ 当院では、予約診療をスムーズに行うため、医師の診察時の超音波検査にご家族が入ることをご遠慮していただいていますのでご了承ください。超音波検査室での経腹超音波検査に同席できなかったご家族の方はスタッフまでご相談ください。尚、医師の説明時にご家族の同席が可能です。
- ☀️ 緊急の処置や病棟の状況により、診察が2~3時間遅れることがあります。ご迷惑をおかけしますがご理解・ご協力をお願いいたします。

☀️ 外来予約時間に遅れた場合は、診察が遅れることがございますのでご了承ください。

☀️ 外来予約日の変更をご希望の方は以下の電話番号に連絡し、予約変更をしてください。

ただし、外来予約日の1週間以内の変更となりますので、ご了承ください。

予約変更センター 044-933-8140

(受付時間：平日 14:30~16:00)

妊婦健診は法律に基づいて健診の間隔が定められていますので、医師の指示に従ってください。

健診をきちんと受けない方は分娩をお断りする場合があります。

☀️ 妊婦健診は木曜日の診察を行っていません。



☀️ 母子手帳の取り扱いについて

妊娠が確定し、妊娠7~10週頃に住民票のある区や市の役所等で母子手帳を交付してもらってください。母子手帳は小さなカルテですので、外出時は必ず携帯しましょう。氏名や住所など、ご自身で記入する所があります。交付され次第、記入をしてください。健診時には毎回提出してください。「**妊娠中の経過**」を産婦人科外来で記入します。

母子手帳の中に書類などをはさんでいると、お預かりしている間に紛失する場合がありますので、母子手帳のみを提出してください。川崎市、横浜市在住の方は公費補助券(別冊)を会計時に毎回提出してください。交付される前に自費で支払いをしていただいた分が返金されます。

☀️ 健診日に母親学級がある場合は、母子手帳を提出する時に東外来受付事務に伝えてください。

VI 妊娠中の注意点

出血

妊娠初期に少量の出血や軽い腹痛を感じる場合があります。正常妊娠でこのような症状が起こることがありますし、流産や切迫流産が起きる場合もあります。しかし、少量の出血等が始まった時点ですぐに受診したとしても現在有効な対処法はありません。このため、夜間、休日等に少量の出血や軽い腹痛があった場合、あえて救急外来を受診する必要はなく、翌日あるいは予約していた日の受診で十分と考えられています。現在のところ、**妊娠12週までの切迫流産に有効な薬剤はないと考えられており、経過観察で対処することとなります。**子宮の中に血腫（血液のかたまり）があるような切迫流産では安静が効果的とする研究報告もあります。ただし、大きな血のかたまりや下腹部痛がひどい場合、また、外来で異所性妊娠（最近まで「子宮外妊娠」といいました。子宮の中ではなく、卵管内や卵巣の周りに妊娠すること）の可能性があるとされている場合は時間外であっても**病院に電話をしてから**受診してください。（24時間可能）

 **吐き気のある時期（つわりの時期）**は、食べられる物を食べられるときに食べましょう。吐き気が落ち着いてきたら、バランスの良い食事（目安：1日2000カロリー）を摂りましょう。つわりの重い状態（悪阻）は、水分も摂取できず、お小水がほとんど出ない状態を言います。数日続いているようでしたら、受診をお勧めします。（平日11：30までに来院してください）

🌻**切迫流産、切迫早産**・・分娩の時期（妊娠37週以降）ではない時期に子宮が収縮（腹部緊満感）することです。お腹が重い感じがする、お腹が硬くなって盛り上がる、下腹部に痛みがあるなどの症状が出たら、横になって休みましょう。安静にしても症状が変わらない時、頻回に症状がある時は、外来予約日に関係なく受診をお勧めします。必ず、**病院に電話をしてから受診してください。**（24時間可能）

🌻**破水**・・胎児を包んでいる膜（卵膜）が破けて、羊水が出ることを言います。お小水とは違うにおい、流れ出るのを止めることができない、腔を流れる感じがあるという症状があります。

（ 腔剤を使用すると腔剤が溶けて帯下が水っぽくなる時があります ）

破水をした場合は、胎児の感染予防のため必ず入院になります。症状に気づいたら、**すぐに病院に電話をしてから受診してください。**（24時間可能）

🌻**胎動減少の対応について**（胎動が急に弱くなったときは？）

胎児約 20～30 分のサイクルで寝たり起きたりを繰り返しています。最近の研究では、妊娠 28 週以降では胎児が起きている間にきちんと計算すると 10 回胎動カウント時間（10 回の胎動を感じるのに要した時間を記録する方法）は約 10～12 分と言われています。これは妊娠末期までほぼ一定化とされています。**「いつもより胎動が少ない」、「急に胎動が弱くなった」と自覚したときは病院へ連絡しましょう。場合によっては来院していただき胎児心拍数モニターを装着して胎児が元気かどうかの検査をしていただく場合があります。**



- ☀️ **歯科の受診**は、つわりが落ち着いてから(分娩予定日決定後から)受診しましょう。歯のレントゲンは腹部を遮へいすれば可能です。歯科医に妊娠していることを伝えましょう。抜歯、虫歯の治療も可能です。治療後の内服は抗生剤(セフェム系)、鎮痛剤(カロナール)は内服可能です。
- ☀️ **髪染め、パーマ**は可能ですが、妊娠により皮膚が弱くなっているのかぶれる可能性があります。
- ☀️ 妊娠中期頃からは、体重増加やむくみ等により指輪が外れにくくなる場合があります。指輪が外れにくいと感じたら、予め外しておくことをお勧めします。
- ☀️ 流行性の感染症(インフルエンザ、ノロウイルス、りんご病など)が身近で流行っている時はなるべく外出、接触を控えるようにしましょう。
ご自身に感染の症状がある場合は、(他の妊婦さんへの感染予防のため)病院に電話をしてから受診しましょう。



妊娠中の指導について

① 母親学級について

当院の母親学級は初産婦対象です。初産婦でLDR希望の方は受講をおすすめします。全3回を同じメンバーでご受講していただけます。

担当助産師は1名です。(第1回目から産後3~4カ月の赤ちゃん同窓会までを責任を持って担当させていただきます)

完全予約制、定員制(17名)になっています。分娩本予約時に受講の有無を確認させていただきます。後日、受講を希望される方は看護スタッフに声をかけてください。

(電話での受講予約はできません)

内容については**15ページ**参照

くわしい日程は別紙参照

料金は全3回 有料(テキスト代含む)

申し込み時に会計窓口(4番)にて事前精算をしていただけます。領収書を保管していただき、第1回目に領収書を担当助産師に提出してください。



② プレママオリエンテーション(助産師指導)について

当院の母親学級を参加されていない方全員が対象になります。

(ただし、前回当院で帝王切開術をされた方は受講しなくても構いません。)

妊娠20週以降に受講していただけます。受講には予約が必要になります。医師の診察終了後に看護スタッフが説明しますので、3西ひまわり病棟で予約をお取りください。

(お電話での予約はお受けしておりませんのでご了承ください。)

受講内容・乳房ケアについて、当院でのカンガルーケア、母乳育児、
母児同室について、入院時期の説明など

所要時間・30分、料金は有料です。

場所・・・産婦人科外来1番指導室で行います。

予約時間前に産婦人科中待合(E通路内)でお待ちください。

*その他の助産師指導について

完全予約制、個別指導になります。

プレママオリエンテーションの他に、妊娠期の指導(体重管理(栄養指導)、母親学級の内容の個別指導、LDRの説明、分娩経過の説明)、産後の乳房ケア・母乳育児支援、育児相談等を行っています。

料金は有料です。

母親学級案内

第1回	妊娠12～16週 第2月曜日	①自己紹介 ③体重管理について	②妊娠中の過ごし方 ④妊娠中の栄養【栄養士より】
第2回	妊娠23～27週 第4月曜日	①乳房の手入れ ②育児用品	③妊娠中の異常 ④入院中に必要な物品
第3回	妊娠30～35週 第1土曜日	①分娩経過と過ごし方 ②入院の時期と入院中の生活	③病棟見学

*第1回目は東外来受付前に13時まで集合してください。

(第2回目以降は担当助産師が会場の案内をします)

*時間・・・13:00～15:00

*必要物品・・・テキスト(第1回目にお渡しします)、筆記用具、母子手帳、(第1回目の診察券と鎮痛薬)

*月曜日が休日の場合は翌火曜日(休日の翌日)になります。



年間予定表



かわいい日程は別紙参照

分娩予定日	第1回 第2月曜日	第2回 第4月曜日	第3回 第1土曜日
1月中旬～2月中旬	8月	10月	12月
2月中旬～3月中旬	9月	11月	1月
3月中旬～4月中旬	10月	12月	2月
4月中旬～5月中旬	11月	1月	3月
5月中旬～6月中旬	12月	2月	4月
6月中旬～7月中旬	1月	3月	5月
7月中旬～8月中旬	2月	4月	6月
8月中旬～9月中旬	3月	5月	7月
9月中旬～10月中旬	4月	6月	8月
10月中旬～11月中旬	5月	7月	9月
11月中旬～12月中旬	6月	8月	10月
12月中旬～1月中旬	7月	9月	11月

VIII 入院について

①入院の時期（くわしくはプレママオリエンテーション、母親学級で説明します）

陣痛時、破水時に電話連絡後来院していただき、診察後に入院が確定します。

（電話で状況を確認させていただいて、来院するかどうか判断させていただきます。）

電話は24時間受けつけています。044-933-8111（代表）に電話していただき、現在の妊娠週数、現在の状況をおっしゃって下さい。

電話交換手が以下に電話を回しますので、再度現状を説明してください。

平日（8:30～16:30）、第2・4土曜日（8:30～12:00）・産婦人科外来

その他の時間・3西ひまわり病棟

妊娠37週未満の方は直接産婦人科医につながります

陣痛の目安・・

*初産婦：10分おき、または1時間に6回以上の下腹部痛を伴う腹部隣緊荷
（初めの電話の後、数時間、自宅で過ごしていただく場合もあります）

*経産婦：10～15分おきに下腹部の痛みが伴うお腹の張りが1時間続いた時
お腹の張りに気づいた後、張るたびに痛みが徐々に強くなる時
気づいたら5分おきに痛みを伴うお腹の張りがある時

破水の目安・・羊水が腔を流れる感じがある。尿と違うにおいの水が流れる
帯下より水っぽいものが流れる

*分娩されるまで病棟内に小学生以下のお子様は入れません。

経産婦の方は必ず預けてから来院するか、どうしてもお子様を連れてくる場合は
付き添いの方と一緒に来院してください。

②面会について（最後のページ参照）



母親学級、プレママオリエンテーションでも説明します。

③入院の手続き・・平日9:00～17:00 第2、4土曜日9:00～12:30

5番入院・退院受付で手続きになります。上記以外の時間に入院された方は後日入院中に手続きをしてください。

入院保証金5万円、保険証、印かんが必要になります。

④入院に必要な持ち物

(くわしくはプレママオリエンテーション、母親学級で説明します)

*手続きに必要な物・・・診察券、母子手帳、保険証、保証金、印かん、筆記用具

*分娩に必要な物・・・前開きで上着が長いVパジャマ

(経産分娩入院の方は、分娩になるまで病衣を着ていただきます)

術後用腹帯 (ワビレ リーザ 1,000円「税抜」) かお手持ちのカートリッジ-

(ワビレは地下売店で購入できます)

*ナプキンは入院時にお渡しします

*あると良い物 (飲み物、ストロー)

*入院中必要な物・・・パジャマ、下着、タオル類、洗面用品、ティッシュ (1箱)

赤ちゃん用のガーゼハンカチ、赤ちゃん用のローション (乳液タイプ)

イヤフォン (大部屋希望、テレビを見る予定の方)

かかとのある履物 (スリッパ不可)

*退院時に必要な物・・・赤ちゃんの洋服、本人の服

その他・・・常用薬、外来で処方されて残っている薬、お薬手帳は必ず持ってきてください。

爪はマニキュア、ジェルネイルを除去してください。

コンタクトは入院中の使用を控えていただきます。

寝着、タオル類のレンタル

産後用パジャマ・バスタオル・

フェイスタオル・1日毎数無制限 (有料)



⑤分娩のため入院される妊婦さんへのお知らせ

以下の①-②に該当する妊婦さんへは胎児への感染を予防する目的で抗生物質の点滴をさせていただきます。

① GBS (B 群溶血性連鎖球菌) が妊婦健診の腔培養で陽性

② 入院時に前期破水 (陣痛発来前に破水) している

Ⅹ 病院への連絡方法

電話：044-933-8111（代表）

*平日 8：30～16：30

第2、4、5土曜日 8：30～12：00

（東外来受付、産婦人科外来で対応）

*上記以外の時間は

妊娠37週末満・・・産婦人科医

妊娠37週以降・・・3西ひまわり病棟で対応します。



3 西ひまわり病棟の面会について (産婦人科)

【 面会時間 】 平日 13:00~20:00
土日、祝日 11:00~20:00

産後のご面会は出産後6時間が経過し問題がなければ可能となりますが、出産当日は患者さんも疲労があるため休息が必要です。短時間のご面会（15分程度）として下さい。また、ご面会は面会時間内のみとなります。

当院は母乳育児を推進しており、夜間も赤ちゃんが立いたタイミングで授乳をしています。赤ちゃんは夜間の方が起きて泣くため、授乳回数が増えます。そのため、患者さんが昼間に仮眠をとれるようにご面会できる方をあらかじめ決めさせていただいております。ご協力をお願いします。

ご面会できる方： 夫・自分の子供・両親・兄弟のみ

部屋には他にも休んでいる患者さんや授乳中の方もいますので、一度にご面会できる方は2人までとしています。それ以上の人数やお子様がいる場合は、ローの青いソファでご面会して下さい。面会できる場所は非常に狭いので、譲り合ってご利用ください。

生まれたばかりの赤ちゃんは抵抗力がありません。赤ちゃんを感染から守るため、面会できる方は健康状態が優れた方のみとしています。また赤ちゃんに触れる前は必ず手指消毒をお願い致します。

患者さんの状態により面会ができない場合は、医師から説明があります。

【 面会の手順 】

- 1) 病院の「時間外入口」から入り、防災管理室でご面会の手続きを行い、面会者バッジ（青バッジ）をもらって下さい。
- 2) エレベーターで3階まで上がり、3西病棟入口から扉を開けて中に入りワークステーションまでお越し下さい。受付にお産後の方と記載されている面会チェック表を準備していますので、必要事項を記入していただき、ひまわりバッジをお取りください。面会者バッジとひまわりバッジの両方を装着し、手指消毒剤で手を消毒してからお部屋にお入りください。